



.....  
**工 事 タ イ ム ス**  
 .....

— 鐵 道 —

**新装成つた新橋驛** 震災後廢墟のやうになつてゐた新橋驛の新しい化粧がいよいよ出来上つた、昔のドイツ式の赤煉瓦が今度のはクリーム色煉瓦の近世復興式といふ見る目にも感じがよい、工費二十萬圓で建築四百五十坪の二階建待合室は一二等と三等の差別を撤廢して入口の左右二箇所に設けられるそして二階は従前通り東洋軒食堂と理髮店などが出来賣店も便利に増設される豫定で三月までには完成する。

**槐木隧道貫通** 久大線北由布野屋間中の槐木隧道二十七鎖餘は同線中最も難工事とされて居たが一月十八日午前無事貫通した同隧道は去る十三年七月三日開鑿に着手したが實に五百六十三日間を要し一日平均三尺宛を穿孔したに過ぎないが然も夫は前後及横の三ヶ所より同時に穿孔を開始したのであるから實際一日の一ヶ所穿孔は僅に一尺で斯る工事の困難なる隧道は日豊豊肥久大三線中には曾てなかつた。

**既設トンネルの換氣設備** 東海道本線大津京都間の逢坂山トンネルで汽關車から吐き出すガスに乗客が中毒して不慮災禍に遭ふものあり右の外關西線では、加太、中央線の小佛、京都の東山などはいづれも同様トンネル内の空氣の流動が悪いため乗務員が惱まされるので震災直後から工務局保線課でいろいろ工風を凝らし、列車がトンネルには入ると直ぐ片方の口に幕を引いてふさぎ空氣の流通を阻止し空氣がうづなまくことを防いでゐたがこれもいろいろと困つたことが起るので近く大改良をなすべくそれぞれ十萬圓位な豫算で動力を以て換氣装置を行

ふことになり目下着々歩を進めてゐる。

**一新する上野驛の設計** 上野驛の改築工事は、約一ケ年がかりで、其の道の權威者たる久野建築課長を始め、専門技師達が研究を重ねた結果、根本の設計方針が極り、本設計に取りかかるまでに漕ぎつけた、同驛前の大通りは都市計畫の方針に基き現在の驛構内が大部削りとられる事になり、只さへ狭い驛構内が非常に狭くなり、その上年々ふえる乗降客や、人車、自動車等を收容するだけの廣い場所が殆どないので、今度は現在の驛入口の處から、車坂市電停留場附近の處まで、驛の玄關口をひろげ、何の方面から來ても便利に入れるやうにする。然して驛本屋の建築は土地が狭いから、立體式の鐵筋コンクリート三階建とし地下室をつくり、其の利用を有効にせよと計畫してゐる、鐵道省建築課では、驛の建築としては頗る難物であるだけに、出来上つた暁は面目が一新されて美觀を呈するであらうと云つてゐる。

— 建 築 —

**都下に於ける建築狀態** 警視廳建築課の調べに依れば昨年中東京の建築軒數は左記の數字を示した。

<input type="checkbox"/> 住宅(甲)建築法に依る申請のもの			
	市 部	郡 部	計
	5,395	11,319	16,714
<input type="checkbox"/> 同 (乙)單に届出のもの			
	4,735	20,292	25,047
<input type="checkbox"/> 工 場			
	2,700	5,242	7,942
<input type="checkbox"/> 自動車庫			

.....  
**工 事 タ イ ム ス**  
 .....

414	148	562
□假設工場		
10,064	208	10,272
□其 他		
10,012	46,702	58,715
□合 計		
35,341	83,911	119,252

で市部に於けるものは復興の爲め本建築に依り建築されたもので、前年に比べて一〇、七一八軒の増加を見せたが郡部は一萬軒餘の減少を來した、これは交通又は地代關係その他で郡部に建築する餘地がなくなつたのも一原因を爲してゐるが、大體は不景氣の影響が第一の原因を現はしてあると云ふ事で總計に於て見る時は前年から見て百十九軒減少してゐる

**大銀座建設彙報** 「新しい大銀座建設の爲めには既に種々と擬議を重ねて最善の方法を得る事に苦心し、殊にその資金に關しては松平駐米大使までを煩はして外債借入を試みやうとしたが、今日では絶望となつたので、今度は方向を更へて建築會社の手を以て復興工事を起さしめ、これに要する一切の資源は同會社をして外債募集の手段を講ぜしむることになりさうである、併しこれは直ぐといふ譯に行かぬ事は勿論だらう、更に京新聯合會ではこの際本建築研究部といふものを設け、各町から委員四名宛を擧げ金融、借地借家、本建築のこの三つを研究する事となつた。

**被服廠跡の納骨堂** 本所被服廠跡に工費百萬圓で建築される大震災遭難者納骨堂は市公園課記念事業協會の竹田氏が専心設計に當つて居たが設計もいよいよ完了したので二月一日午前九時から現在の納骨堂裏に試験工事として杭打ちの作業が始められた、杭は五十尺もの一本と八十尺もの二本の三本を地下五尺まで打ち込み其上へ十五トンの重量を載せて沈下試験を行ふもので同日は首尾好く杭打作業を終つたので二日からは荷重試験に取り掛る事になつてゐる、そしてこの成績を見た上で三月上旬から本工事に取り掛り來年九月までには完成させる豫定である、納骨堂は延建坪一千坪で地下室附きの二階建その中央に百八十尺十階の高塔がそゞり立ち、一階

は靈場、祭場、事務室參拜者休憩所等に當て、二階は震災の記念品陳列場となり、地下は倉庫その他となるのである、これが完成すれば目下假納骨堂にあるトタン張り約六斗入りの納骨棺三百五十個は洋式の莊麗な本堂に安置され、その靈は永く國民に依つて慰められる事になるのである、因に寄附金は既に八十萬圓近く集つてゐると言ふ。

— 道 路 —

**東京郡部道路と受益者負擔** 東京府はさきに郡部における放射線選狀線を大正十年度より廿年度まで延長十六里餘を經費四千三百八十八萬圓を以て施行することに決し既に約一千萬圓淀橋青梅日暮里大島等における路線は完了したが右の財源として府では國庫補助金借入金及び都市計畫特別税（地租營業税の増課）を以て充當することゝなつてゐたが更に受益者負擔金を徴收してその財源の一部とすることゝし目下徴收規程の起草中である而してその割合は大體工費の土地所有者、地上權者並に十年以上の賃借權者より徴收する債定で既に終了した處より順次徴收する方針である。

**臺灣の縦貫道路** 「臺灣に完全なる道路なし」とは久しい間の嘆聲であつたが今回總督府交通局では大英漸で基隆から臺北、新竹、臺中、臺南及び高雄の各都市を経て屏東街に通ずる延長百十七里十八町の縦貫道路の十年計畫を發表した、今では縦貫道路は地方人の敷地と勞力の提供で既に六間幅の道路の土工大部分を終つてゐるが、經費の關係で橋梁までは行き届かず臺北橋、大肚橋、二曾行溪橋の外主な市街地附近の橋梁一部の工事を施したのみで、その他の河川は總て渡渉又は渡船で一朝出水の際は忽ち河止の憂き目に會ふ、今回の計畫は約一千二百八十一萬圓の豫算で大小橋梁五百二十箇所、暗渠千餘箇所を大正十五年度以降十年間に完成するもので十五年度は先づ基隆臺北間を完全にする豫定である。

— 公 園 —

**五十二の綺麗な小公園** 東京市が震災災に

## 工 事 タ イ ム ス

鑑みて市内各區五十二箇所に小公園を設けて、火事の避難所を兼ねた子供達の遊場を造る計劃は、その後區劃整理の關係で大正十二年度から毎年五公園宛造設する豫定がだんだん遅れてゐたが、漸次區劃整理の進捗と共に既に敷地も決定し財源も現在二十五公園分あるので、それぞれ設計並に工事に着手して此の四月までに出來上るものは本郷新花、月島、淺草の柳北の三公園で、これに次いで本年中に出來上るものでは麴町上六、神田錦華、同淡路、芝南櫻、日本橋綱殻町、深川の東陽で合計九公園は今年中に出來るのが此外淺草玉姫町の石濱公園も區劃整理が出來次第工事に着手する豫定で大正十七年度に全部が出來上るのである、これ等は何れも九百坪内外の小公園で一公園の建設費が三萬圓位、園内には子供の遊び場や運動場又場所によつては小動物も飼育する管で、更に廣場の正面には一段高く簡単なステージやうのものを設けると共に阿屋では屋外活動寫眞の出来るやうにし、附近の町内の集會にも使用出来るやうに設備され又周圍の植樹は主に小學校の教材になる樹木を植附ける管である、尙月島公園は他の小公園より坪數も廣い爲め此處は約七十五坪のプールをも設けるとの事である。

## — 河 川 —

**東京河川の大改修計畫** 東京市の道路舗装が改修せられると間もなく破損する事は工事の粗漏乃至地盤軟弱の關係より來るものではなく、その荷負量の餘りに大なるに原因してゐる故、この道路維持の上より現在トラック荷馬車等で運搬せられてゐる貨物を出來る丈河川に移して運搬せしめぬ事が必要である、一方物貨政策の上より云ふも水上運賃は陸上運賃の約三分の一で遙に物價を安からしむる事となる關係から中村市長は東京灣築港計畫の遂行と同時に市内枝川の大改修を行ふ可く目下具體的調査を急がしめつゝあるが其要項は

- 一、護岸の根底を深くし浚渫を完全にする事
- 二、河水の清淨を行ふ事
- 三、舩の統一を圖る事
- 四、共同物揚場を増置する事

で、共同物揚は現在二百二十六箇所の所を更に六十四箇所新設し四十八箇所擴張す可く、三百八十一萬五千圓の豫算で着手する事になつた。

**目黒川の改修工事** 降雨の度毎に氾濫して沿岸住民に甚大な損害を與へつゝある目黒川は、愈々九百九十六萬圓で近く改修工事に着手する事となつたので、東京府では過般内務省より公布された運河並に河川の改修による受益者負擔規程に基き、目下施行細則の作成中で、近く決定を見る事となつてゐる、それによると目黒川の兩岸幅員十四間の三倍の地域にある土地の所有者及び十年以上の契約ある賃借權並に地上權者に對し工費の四分の一約五十萬圓を課する豫定で、その面積は神社佛閣其他公共用地を除き約二十六萬坪、坪當り約二圓に當る管である。

## — 學 術 —

**技術者資格檢定試験** 日本工人俱樂部では多年の懸案であつた技術者資格檢定試験を昨年五月その第一回を土木科第三種(工手學校程度)のみについて行つたことは既報の如くであるが、本年は土木科第二種(高工卒程度)及第三種(以上委員長茂庭博士)機械科(委員長丹羽博士)、建築科(委員長内藤博士)應用化學科(委員長鴨居博士)の第三種試験を行ふことになつた。此の試験に合格した者は各科委員長は素より各委員は責任を以て社會に推薦し、工人俱樂部の職業紹介機關と相俟つて就職の便宜を圖るといふから、家庭の事情や經濟的障害により正式に學校を卒業し得なかつたために不遇の地位に置かれ驥足を伸ばし得ない多數の有能な技術家に取つては天來の福音と謂はればならぬ。試験は本年五月六日から第二種は四日第三種は三日間施行される。詳細は東京市丸の内仲通六號館の日本工人俱樂部へ照會すれば親切に回答してくれるといふことである。

